

情 報 公 開 文 書

研究の名称	肝ダイナミック CT における至適造影剤量の検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学 附属病院放射線部 診療放射線技師長 森 光一
研究の概要	【研究対象者】 自施設において 2019 年 7 月 22 日から 2024 年 3 月 31 日までに CT 装置で肝臓ダイナミックと脾臓ダイナミック検査を行った約 300 名を予定。 【研究の目的・意義】 造影 CT においてヨード投与量は患者さんの体重によって決定する（体重換算法）のが一般的であり、当院でも体重換算法によって造影剤の使用量を決定している。 しかし体重換算法の造影剤量は、低体重領域で過少投与や高体重領域で過剰投与が懸念される。また、それらを補うために「除脂肪体重換算法」（radiology:volume 278: Number3-March2016）を併用しているが、ある程度補正できるが完璧ではなく誤差がある。また、体重と身長の間取りや実測定を伴うため、複雑な作業となる。そこで、実際臨床使用している CT データから後ろ向きに、まずは当院の造影検査の除脂肪体重換算法を含めての造影剤使用の現状把握を行う。次に、現状把握した上で、直線的な比例関係ではなく、それを補正し曲線的な関数を導くための検討を行い、体重のみで低体重から高体重領域まで対応できる換算法を検討し、最適な造影剤の使用量を臨床に応用したい。 【研究の方法】 放射線部門システムの CT 実施記録から対象患者の体重、使用造影剤、CT 値などを計測し、集計する。 【研究期間】 2020 年 10 月 19 日～2024 年 3 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 日本放射線技術学会総会学術大会
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	放射線部門システム CT 検査実施記録から、正確な体重が分かり、かつ肝臓脾臓ダイナミック検査を行った患者。年齢、性別等は問わない。上記対象基準を満たす患者を抽出する。 （他機関への提供：なし）
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	国立大学法人 富山大学 附属病院放射線部 診療放射線技師長 森 光一
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関におけ	国立大学法人 富山大学 附属病院放射線部 診療放射線技師長 森 光一

る研究責任者氏名)	
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む) を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7814 E-mail maiwa910@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 放射線部 診療放射線技師 森野友美